

平成21年9月8日招集

茂原市議会定例会会議録（第1号）

議事日程（第1号）

平成21年9月8日（火）午前10時00分開会

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定

第3 認定案第1号から第10号並びに議案第
1号から第8号までの上程説明

第4 請願・陳情の上程後委員会付託

第5 休会の件

茂原市議会定例会会議録（第1号）

平成21年9月8日（火）午前10時00分 開会

○議長（常泉健一君） おはようございます。ただいまから平成21年度茂原市議会第3回定例会を開会いたします。

現在の出席議員は25名であります。したがって、定足数に達し会議は成立しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

午前10時00分 開議

○議長（常泉健一君） 直ちに本日の会議を開きます。

————— ☆ ————— ☆ —————

議会運営委員会委員長の報告

○議長（常泉健一君） 最初に、今定例会の運営につき、閉会中に議会運営委員会を開会し、種々協議を行いましたので、その内容について議会運営委員会委員長から報告を求めます。

議会運営委員会委員長 伊藤すすむ君。

（議会運営委員会委員長 伊藤すすむ君登壇）

○議会運営委員会委員長（伊藤すすむ君） おはようございます。議会運営委員会の報告を申し上げます。

本委員会は、去る8月7日に招集告示されました平成21年第3回定例会の運営につき、8月10日及び9月4日並びに8日に委員会を開き、種々協議をいたしましたので、その内容について報告いたし、皆様方の御協力をお願いするものでございます。

最初に、本定例会の日程について申し上げます。お手元の日程表をごらんいただきたいと存じます。

まず、会期について、市長提出の認定案10件、議案8件並びに一般質問通告者7人を勘案し、本日から29日までの22日間とすることといたします。

本日は、会議録署名議員の指名、会期の決定、市長提出議案の上程説明、請願・陳情の上程後委員会付託並びに休会の件を議題といたします。

9日から15日までは、議案等調査のため休会、一般質問は16日に4人、17日に3人行います。

なお、一般質問者の順位は、くじにより配付資料のとおり決定しましたので、御了承願います。

18日は、議案質疑後委員会付託を行い、本会議終了後、各常任委員会の審査をお願いいたし

たいと思います。

また、認定案第1号、平成20年度茂原市一般会計歳入歳出決算の審査については、従来のとおり決算審査特別委員会を設置し、同委員会に付託の上、閉会中の継続審査とすることといたしました。委員会の構成については8人とし、委員の選任は、茂原市議会委員会条例第8条第1項の規定により議長の指名とします。

さらに、認定案第2号から第10号までの特別会計決算についても、所管委員会に付託の上、閉会中の継続審査といたします。

19日から28日までは、報告書作成のため休会といたします。

最終日29日は、本会議に先立ちまして、午前11時から常任委員会の委員長報告の調整を行っていただき、午後1時から本会議を開き、議案等に対する総括審議を行うことといたします。

以上が、今定例会の運営に関する協議決定事項であります。運営上新たな問題が生じた際は、議会運営委員会において協議の上、処理をしていくことといたしました。

議員皆様方の御理解、御協力を重ねてお願い申し上げます。報告を終わります。

○議長（常泉健一君） 以上で議会運営委員会委員長の報告を終わります。

————— ☆ ————— ☆ —————

諸 般 の 報 告

○議長（常泉健一君） 次に、諸般の報告をします。

報告の内容は、閉会中における議長の諸報告、公務報告、平成21年第1回臨時会並び第2回定例会会議録についてであります。いずれもお手元に配付してあるとおりであります。

次に、本日招集されました9月定例会の議案等説明のため、市長並びに関係行政機関に出席を求めたところ、お手元に配付してあるとおり出席報告がありました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 事 日 程

○議長（常泉健一君） 本日の議事日程は、既にお手元に配付してありますので、それにより御了承願います。

————— ☆ ————— ☆ —————

会議録署名議員の指名

○議長（常泉健一君） それでは、これより議事日程に基づき議事に入ります。

議事日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

本件については、会議規則第81条の規定により、議長から指名します。

会議録署名議員に

9番 平 ゆき子 君

10番 鈴木 敏文 君

の2名を指名します。

————— ☆ ————— ☆ —————

会 期 の 決 定

○議長（常泉健一君） 次に、議事日程第2「会期の決定」を議題とします。

お諮りします。今定例会の会期は、議会運営委員会の協議に基づき、本日から29日までの22日間としたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（常泉健一君） 御異議ないものと認めます。したがいまして、会期は本日から29日までの22日間とすることと決定しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 長 の 報 告

○議長（常泉健一君） ここで報告します。本日、市長から今定例会に提出するための議案の送付があり、これを受取りお手元に配付しました。

また、あわせて地方自治法第233条第5項の規定により、平成20年度決算に係る主要な施策の成果を説明する書類、並びに地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定により、平成20年度決算の健全化判断比率及び資金不足比率についての書類が提出されました。

————— ☆ ————— ☆ —————

認定案第1号から第10号並びに議案第1号から第8号までの上程説明

○議長（常泉健一君） 次に、議事日程第3「認定案第1号から第10号並びに議案第1号から第8号までの上程説明」を議題とします。

議案の上程については、認定案10件、議案8件を一括上程します。

市長から提案理由の説明を求めます。市長 田中豊彦君。

（市長 田中豊彦君登壇）

○市長（田中豊彦君） おはようございます。本日から、平成21年第3回定例会を開催いたすことといたしました。議員各位におかれましては、大変御多忙のところ、まことに御苦労さまでございます。

議案の説明に入ります前に、諸般の報告を申し上げます。

先般、政権選択を最大の焦点とした第45回衆議院議員総選挙が行われ、民主党が単独過半数を獲得し、政権交代が現実のものとなりました。国民の既存政治に対する不満と新政権誕生による「変化」への期待のあらわれであり、私といたしましては、今後も新政権の動向を注視するとともに、本市の未来のために「大胆に着実」、「選択と集中」により諸施策に取り組んでまいります。

さて、内閣府の月例経済報告によりますと、我が国経済は雇用情勢に急速な悪化があるものの、在庫調整の一巡や経済対策の効果に加え、対外経済環境の改善により、個人消費や輸出、生産に、持ち直しに向うことが期待されております。

千葉県内においても、厳しい状況にあるものの、製造業の生産の一部増加傾向が見られるなど、持ち直しの動きが見られております。

国は当面、景気対策を最優先で進めるため、「経済危機対策」等を着実に実施するとしており、本市におきましても、「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等、国の経済危機対策を積極的に活用し、本市経済の活性化に努めてまいります。

それでは、初めに、新型インフルエンザ対策について申し上げます。

メキシコに端に発しました新型インフルエンザは、弱毒性にもかかわらず感染力が強く、WHO（世界保健機関）は警戒水準を最高度の「フェーズ6」に引き上げ、「世界的大流行（パンデミック）」を宣言いたしました。しかしながら、毒性が弱いことから、渡航制限や企業活動の自粛など、人や物の移動を制限する措置については必要ではないとされ、各国には冷静な対応が求められております。

一方、国内では7月14日、山形県での患者発生によって、47都道府県すべてにおいて感染者が確認されたところであります。厚生労働省は、関連省令や運用指針の改定を行い、各自治体に対して7月24日から新型インフルエンザ感染者の全数報告を取りやめ、集団感染を中心とした報告へと切り替え、その後の定点調査の結果、8月21日には「流行シーズンに入った」と発表いたしました。また、8月15日以降、新型インフルエンザによる死亡者も複数確認され、持病のある方や年少者の重症事例も増加しております。

新学期が始まり、学校での集団発症が報道され、さらに秋から冬にかけてウイルスの変異が懸念される中、本市も国や県の動向を注視し、「茂原市新型インフルエンザ対策本部」を中心に、長生保健所・茂原市長生郡医師会等の関係機関との連携を図るとともに、市民の安全・安心を確保すべく、全庁体制で取り組んでまいります。

なお、姉妹都市ソルズベリー市との交流事業であります「茂原市中学校等海外派遣研修」及び秋に予定されておりました「モーションレイクススクールの生徒及び教員の受け入れ」につきましては、新型インフルエンザの世界的な流行を踏まえ、中止といたしました。

次に、学校施設の耐震化についてでございますが、耐震化優先度調査においてランク3の結果が出ている小中学校校舎8棟、屋内運動場4棟並びに3幼稚園園舎につきましては、耐震診断等を本年度中に実施してまいりたいと考えております。

次に、財団法人茂原市学校給食公社問題について申し上げます。本年6月の教育委員会会議において、学校給食共同調理場管理規則が改正されました。これは、複数の民間業者から最新の知識と技術や豊富な経験に基づく企画を提案していただき、創意工夫により学校給食の質を維持しながら、安全・安心なおいしい給食を児童生徒に提供することを目指すものでございます。今後につきましては、学校給食の目標を踏まえつつ、委託料の軽減を図るため、財団法人茂原市学校給食公社を含めた複数の民間業者の参加によるプロポーザル方式により委託先を選考し、長期継続契約する予定でございます。

なお、千葉県労働委員会に茂原市学校給食公社労働組合より、茂原市、茂原市教育委員会及び財団法人茂原市学校給食公社を被申立人として8月10日付で不当労働行為救済の申立があり、現在対応に努めておるところでございます。

次に、介護施設の整備についてでございますが、平成21年度から23年度までの3か年間の計画期間とする第4期介護保険事業計画に盛り込まれました認知症高齢者グループホームの定員増を実行するため、施設整備を希望する事業者を公募いたします。第4期介護保険事業計画で設定している市内の4区域の生活圏域のうち、新規の施設整備は、茂原地区に1カ所、本納地区に1カ所、それぞれに9床のグループホームを設置しようとするもので、9月中をめどに公募を終了し、10月から12月にかけて書類及びヒアリングによる審査を行い、12月中に事業者を決定する予定であります。

次に、児童福祉につきましては、平成20年度の国の緊急措置として、幼児教育期の第2子以降の子1人あたり3万6000円を支給する「子育て応援特別手当」の対象者1080世帯に対し、8月28日までの1058世帯分、3909万6000円を支給いたしました。

なお、この手当につきましては、国の「経済危機対策」として、さらに平成21年度に限り支給対象者を第1子まで拡充することとなっているため、本市では2300人に対し8280万円の支給を見込んでおります。

次に、放課後児童健全育成事業についてですが、萩原小学校の校舎改築にあわせ、萩原学童

クラブの専用保育室を学校敷地内に確保いたします。また、保育所・児童遊園の遊具の安全対策といたしましては、国の「地域活性化・生活対策臨時交付金」や「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用し、保育所4園と児童遊園7カ所の危険な遊具の撤去と新設を実施してまいります。

次に、健康づくりの推進についてですが、女性特有の子宮けいがん及び乳がんの検診につきましては、10月から対象者に無料クーポン券等を発送するとともに、市内の医療機関でも個別に受診できるよう準備を進めております。また、11月からの集団検診につきましては、回数を増やして対応してまいります。

なお、個別及び集団検診の実施前に契約予定の医療機関で受診した方につきましては、償還払いを予定しております。

次に、都市公園維持補修事業につきましては、国の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を活用し、老朽化して安全性が懸念される富士見公園野球場のスコアボードの改修を実施いたします。また、茂原公園内施設のうち、老朽化により撤去したアスレチック遊具に代えて中型の複合遊具を設置し、利用者の利便性の向上を図ってまいります。

次に、防災対策についてでございますが、本年は、全国で局地的な豪雨や竜巻の発生により、甚大な被害が発生いたしました。本市では、幸い、直接的な被害はありませんでした。しかしながら、災害に対しては、日ごろからの心構えが大変重要であり、被害の発生を事前に防止し、また、最小限に食い止めるには、住民及び防災関係機関相互の密接な連携による迅速かつ円滑な対応が必要となります。

このような認識のもと実施しております地域防災訓練は、本年度で30回を迎えまして、中の島小学校を会場として実施いたしました。当日は、茂原警察署などの防災関係機関及び電気・ガス・水道などのライフライン関係機関、地元自治会、小学校等、総勢1058名の御参加をいただき、大変熱心に取り組んでいただきました。心より感謝申し上げますとともに、今後とも災害に強いまちづくりに努力してまいります。

次に、ひめはるの里についてでございます。

ひめはるの里は、平成21年4月1日付で株式会社ニチイグリーンファームに貸し付けをいたしました。同社では、今後の運営方針並びに工事の日程等について地元説明会を2回開催し、来年4月のリニューアルオープンを目指しているところでございます。

次に、産業振興施策に伴う工場見学会について申し上げます。

昨年度より市内の製造工場における事業内容を広く市民に紹介し、理解と認識を深めていた

だくとともに、本市の工業振興を図ることを目的とした工場見学会を実施しており、本年は7月17日に開催いたしました。市民25名の御参加をいただき、関東天然瓦斯開発株式会社茂原鉱業所及び沢井製薬株式会社関東工場を見学いたしました。改めて本市の製造業に対する認識を深めていただくことができたと考えております。

次に、企業誘致につきましては、深刻な景気低迷が依然として続き、企業側は設備投資や先行投資を極力手控えており、新たに企業を誘致することは極めて困難になっております。しかしながら、最近の経済動向では持ち直しに向うことが期待されておりますので、引き続き企業情報を収集し、市内遊休工場跡地への企業誘致に努めてまいります。

そのほか、平成19年6月に施行されました国の企業立地促進法の一部が改正され、支援措置が拡充されましたので、今後、千葉県と連携を図りながら基本計画の策定を目指してまいります。

次に、茂原七夕まつりについて申し上げます。

第55回茂原七夕まつりは「天の川 未来にかける 夢まつり」をメインテーマとして、7月24日から26日までの3日間にわたって開催されました。天候にも恵まれ、県内外から86万人の観光客が訪れ、25日には森田知事に駆けつけていただき、盛会のうちに無事終了することができました。七夕装飾につきましては、55回目の記念行事として、江戸時代の浮世絵を参考に、長生高校の社会科研究部の手により「笹ぼうき」の七夕飾りがショッピングプラザ・アスモに再現されたほか、江戸時代まで行われていた「七夕七遊」を再現し、七調子の管弦など、オリジナル曲の演奏を行いました。また、空き店舗対策として、新たに提灯飾りを実施いたしました。茂原七夕まつりを盛り上げていただきました市民の皆様、また、ご協力いただきました市内企業の皆様方、警察、消防関係者には、心より感謝を申し上げます。来年もことしの総体的な反省を踏まえ、「見て楽しく、参加して楽しい」市民を挙げての茂原七夕まつりになりますよう、引き続き努力してまいります。

次に、戸籍の電算化事業についてでございます。

平成21年10月17日より戸籍が電算化されます。戸籍が電算化されると、出生届や婚姻届などの戸籍届出の処理や戸籍発行に要する時間が短縮されるなど、戸籍事務全般の効率化、適正化が図れますので、より一層の住民サービスの向上が図れるものと考えております。

さて、本定例会に御提案申し上げます案件は、認定案10件、補正予算4件、条例の一部改正2件、人事案件1件、その他案件1件の合計18件でございます。

まず、認定案第1号から認定案第10号までは、平成20年度の一般会計及び各特別会計の決算

の認定でございます。

一般会計につきましては、歳入総額は264億3476万2094円、歳出総額は259億5918万8148円となり、翌年度に繰り越すべき財源等を差し引いた実質収支は2億7832万2000円の黒字決算となりました。また、特別会計につきましても順調な決算をすることができました。これもひとえに議員各位はもとより、市民の皆様方の温かい御支援、御協力の賜物と深く感謝を申し上げる次第であります。

次に、議案第1号から議案第4号までは、平成21年度茂原市一般会計及び特別会計の補正予算でございます。

議案第1号の茂原市一般会計補正予算（第2号）につきましては、歳入歳出それぞれに7億886万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額を247億6044万9000円にしようとするものでございます。

議案第2号の国民健康保険事業費補正予算（第1号）につきましては、歳入歳出それぞれ304万円を追加し、歳入歳出予算の総額を94億6734万5000円にしようとするものでございます。

議案第3号の老人保健費補正予算（第1号）につきましては、歳入歳出それぞれに1046万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額を1383万5000円にしようとするものでございます。

議案第4号の後期高齢者医療事業費補正予算（第1号）につきましては、歳入歳出それぞれに50万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額を7億2100万3000円にしようとするものでございます。

次に、議案第5号「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、地域の実情に即したバス等の旅客輸送サービスの実現を図るため、道路運送法の規定に基づき「茂原市地域公共交通会議」を設置するにあたり、「地域公共交通会議委員」を非常勤の特別職の職員として位置づけするとともに、その報酬額を定めようとするものでございます。

次に、議案第6号「茂原市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、国の緊急少子化対策により、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの出産育児一時金の額を現行の38万円から4万円引き上げ、42万円に改正しようとするものでございます。

次に、議案第7号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」御説明申し上げます。

ます。

本案は、現委員の「中村洋子」氏が平成21年12月31日をもって任期満了となるため、同氏を再度委員に推薦することについて、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めようとするものでございます。

次に、議案第8号「損害賠償額の決定及び和解について」御説明申し上げます。

本案は、平成20年11月18日、午後3時48分ごろ、茂原市茂原108地先の交差点内において発生した交通事故について、今般、相手方に生じた損害賠償額が169万5014円と決定し、相手方と和解するため、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めようとするものでございます。

以上が、今議会に提案しております18件の概要でございます。詳細につきましては、それぞれ担当部長から説明させますので、よろしく御審議を賜り、御可決くださいますようお願い申し上げます。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○議長（常泉健一君） 企画財政部長 平野貞夫君。

（企画財政部長 平野貞夫君登壇）

○企画財政部長（平野貞夫君） 企画財政部所管にかかわります認定案第1号及び議案第1号につきまして御説明申し上げます。

まず、認定案第1号「平成20年度茂原市一般会計歳入歳出決算」について申し上げます。

歳入総額は264億3476万2094円、対します歳出総額は259億5918万8148円で、歳入歳出差引額は4億7557万3946円の黒字決算となりました。

これに繰越明許、事故繰越及び継続費に伴います翌年度へ繰り越すべき財源1億9725万1510円を差し引いた実質収支につきましても2億7832万2436円の黒字決算となりました。

また、決算規模を前年度と比較しますと、歳入におきましては、景気悪化により法人市民税や地方消費税交付金、さらには財産収入や繰越金などがそれぞれ減となりましたが、個人市民税や償却資産に係る固定資産税、土地開発公社の債務償還に伴う事業債、減収補てん債の発行等による地方債、土地開発公社貸付金元金収入などによる諸収入の増などによりまして、20億6891万659円、8.5%の増となりました。

一方、歳出におきましては、物件費や土地開発公社貸付金などの減があるものの、扶助費や土地開発公社貸付金の繰上償還による公債費、学校の耐震化事業や債務償還に伴う普通建設事業等の増によりまして、19億5020万5431円、8.1%の増となりました。

厳しい財政状況の中、財政健全化計画3年目の予算執行にあたりましては、経常経費の節減

合理化と各事業の効率的な執行、債務の確実な償還に努め、おおむね所期の目的が達成できたところであります。

次に、歳出の概要につきまして申し上げます。詳細はお手元に配付してございます「主要施策の成果」により御報告させていただきますので、あらかじめ御了解願います。

まず「教育文化」でございますが、「教育環境の整備」といたしましては、豊田小学校のプールろ過装置改修工事等による小学校補修工事で2418万円余を、萩原小学校普通教室棟の耐震化事業に係る小学校施設整備事業で2979万円余を、東中学校屋内運動場外2校の中学校耐震化事業に係る中学校施設整備事業で3731万円余を、「教育内容の充実」といたしましては、円滑な授業を実施するため特別支援教育支援員を西小に加え、萩原小、五郷小及び本納中に配置することで337万円余を、「スポーツ環境の充実」といたしましては、市民体育館が平成22年度にゆめ半島千葉国体のバレーボール競技会場となっているため、その補修事業で2096万円余を、「国際化の推進」といたしましては、ソルズベリー市の茂原まつり出席のための訪問団派遣等で336万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、「健康福祉」でございます。「地域福祉の充実」といたしましては、高齢者、障害者等の利便を図るためJR茂原駅エレベーター設置事業補助金で1500万円を、「児童福祉の充実」といたしましては、放課後児童健全育成事業で2470万円余を、児童保育委託事業で3億1984万円余を、児童手当支給事業で6億356万円余を、「高齢者福祉の充実」といたしましては、地域密着型特別養護老人ホームの整備補助金として4000万円を、「障害者福祉の充実」といたしましては、介護給付事業で4億6104万円を、訓練等給付事業で9776万円余を、重度心身障害者（児）医療費助成事業で1億3755万円余を、「ひとり親家庭福祉の充実」といたしましては、児童扶養手当支給事業で3億1828万円を、「低所得者福祉の推進」といたしましては、488保護世帯への生活保護扶助費で10億268万円余を、「健康診査の充実」といたしましては、メタボリックシンドロームの予防等を目的とした健康診査事業で6544万円余を、「母子保健の充実」といたしましては、乳幼児医療対策事業で1億680万円を、妊婦・乳児一般健康診査委託料等母子保健事業で3730万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、「生活環境」でございますが、「生活道路の整備」といたしましては、24カ所の道路補修工事等で3029万円余を、6路線の未舗装道路の整備等で535万円を、6路線の道路改良事業で8008万円余を、「河川の整備」といたしましては、準用河川乗川の改修事業で6169万円余を、「浄化槽対策の推進」といたしましては、131基の合併処理浄化槽設置補助等で2050万円を、「排水の適正処理」といたしましては、道路排水3カ所、清水地区の内水対策及び10カ所

の排水整備工事等で1308万円余を、「公園の整備」といたしましては、長生の森公園整備事業で1001万円余を、「住宅環境の整備促進」といたしましては、吉井住宅外火災報知器設置工事等市営住宅管理費で4327万円余を、「交通安全対策の推進」といたしましては、交通安全施設整備事業で2594万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、「都市基盤」でございますが、「秩序ある市街地整備の推進」といたしましては、債務負担行為の償還を除き、茂原駅前通り地区土地区画整理事業で2452万円余を、「道路網の整備」といたしましては、債務負担行為の償還を除き、街路事業費で2744万円余を、「バス輸送の整備」といたしましては、市民バス運行事業で1700万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、「産業振興」でございますが、「生産基盤の整備」といたしましては、吉井地区の土地改良事業清算金ほ場整備事業で3749万円余を、新川地区の県営かんがい排水事業で3665万円を、「新たな企業・産業の導入」といたしましては、企業立地促進事業で4億円を、「経営の近代化促進」といたしましては、中小企業資金融資事業で5億8207万円余を、「観光資源の整備」といたしましては、茂原七夕まつり事業で1008万円余をそれぞれ執行いたしました。

次に、「市民自治」でございますが、「広報活動の充実」といたしましては、広報発行事業で1720万円余を執行いたしました。

最後に、茂原市土地開発公社経営健全化計画及び債務負担行為償還計画Ⅲに基づく債務負担行為の解消といたしましては、再開発事業で6億1163万円余を、街路事業費で1000万円を、茂原公園駐車場整備事業で11億2226万円余を、茂原駅前通り地区土地区画整理事業で1億309万円余をそれぞれ執行いたしました。

以上、ごく概要について申し上げましたが、本案につきましては、監査委員の意見書を付しております。決算審査の過程におきましても御意見、御指導いただいておりますので、今後とも、それらに十分留意いたしまして、市民福祉の向上に一層の努力をまいります。

次に、本年度決算から計画策定義務が生じる財政健全化法の健全化判断比率及び資金不足比率につきまして御説明いたします。

まず、健全化判断比率につきましては、実質赤字比率及び連結実質赤字比率は黒字のため該当がありませんでした。実質公債費比率は19.3%で、引き続き起債許可団体となるものの、早期健全化基準25.0%を下回り、また、将来負担比率も213.5%で早期健全化基準350.0%を下回りました。

資金不足比率につきましては、下水道事業会計、農業集落排水事業会計、宅地開発事業会計のいずれも黒字のため該当がありませんでした。

続きまして、議案第1号「平成21年度茂原市一般会計補正予算（第2号）」について申し上げます。

本案は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7億886万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ247億6044万9000円にしようとするものです。

その概要を歳出より申し上げます。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費の情報化推進・事務改善事業は、臨時交付金を活用して、庁内情報システム用プリンター・パソコン購入及びセットアップ費用に3976万円を追加するものでございます。

8目財産管理費の公用車管理運営費は、臨時交付金を活用して庁用自動車の購入に538万円を、公有財産台帳整備事業は緊急雇用創出事業により新地方公会計制度に対応した財産台帳の整備に850万5000円をそれぞれ追加するものでございます。

14目防災対策費の防災行政無線施設事業は、臨時交付金を活用して、防災行政無線設置工事に230万円を、災害非常用対策事業も同交付金を活用して、防災備蓄倉庫及びAEDの購入に853万円をそれぞれ追加するものでございます。

2項徴税費、2目賦課徴収費の過誤納還付金は、法人市民税等の還付金に不足が見込まれるため、2917万7000円を追加するものでございます。

3款民生費、1項社会福祉費、3目社会福祉施設費の地域福祉センター整備事業は、臨時交付金を活用して、総合市民センターの自家発電機改修工事及び各福祉センターの地上デジタルテレビの購入に678万5000円を追加するものでございます。

4目老人福祉費の公的介護施設整備促進事業は、グループホームを整備する事業者及び既存施設にスプリンクラーを整備する事業者に対し、その経費の一部を補助するため6422万1000円を追加するものでございます。

2項児童福祉費、1目児童福祉総務費の子育て応援特別手当支給事業は、国の経済対策による子育て応援特別手当交付金により、小学校就学前3年間の子1人あたり3万6000円を支給するもので、約2300人が対象となり、8723万円を追加するものでございます。

4目保育所費の公立保育所維持管理は、臨時交付金を活用して、各保育所の施設整備及び地上デジタルテレビの購入に1659万円を追加するものでございます。

4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費の新型インフルエンザ対策事業は、臨時交付金を活用して、新型インフルエンザ対策の従事者に必要な防護具の購入等に557万6000円を追加するものでございます。

3目健康管理費の健康診査事業は、女性特有のがん検診委託等に2855万3000円を追加するものでございます。

5款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費の農道整備事業は、臨時交付金を活用して、農道舗装工事に800万円を、用排水路維持管理事業も同交付金を活用して、新治土地改良区及び東郷関工区の排水路整備に500万円をそれぞれ追加するものでございます。

6目土地改良事業費の湛水防除事業は、渋谷地区の排水路護岸工事に伴う県事業負担金として1220万円を追加するものでございます。

6款商工費、1項商工費、3目勤労福祉施設費の施設維持管理費は、臨時交付金を活用して、東部台文化会館の外壁補修工事、非常用蓄電池交換工事及び地上デジタルテレビの購入に2110万円を追加するものでございます。

7款土木費、1項道路橋梁費、2目道路維持費の道路橋梁管理費は、臨時交付金を活用して、側溝清掃土の処分をするため2770万円を、道路橋梁維持補修費は、橋梁の老朽化に伴う調査、東郷外1路線の道路補修及び作業用トラックの購入等に3496万1000円をそれぞれ追加するものでございます。

3目道路新設改良費の道路舗装新設事業は、栗生野外4路線の新設工事に400万円を追加するものでございます。

2項河川費、1目河川総務費の排水路維持管理費は、臨時交付金を活用して、中の島排水機場外2カ所の補修工事に1430万円を追加するものでございます。

3目排水整備費の排水路補修工事は、法目外6カ所の補修工事に300万円を、また、排水整備事業は、臨時交付金を活用して、本納外3カ所の排水不良箇所の整備に1370万円をそれぞれ追加するものでございます。

3項都市計画費、2目街路事業費は、土地開発公社の債務償還分として4763万6000円を、また、管理事業費は、臨時交付金を活用して、駅前東口広場の街路灯修繕工事及び南口・東口広場のシェルター修繕工事に880万円をそれぞれ追加するものでございます。

3目公園費の都市公園等維持補修事業は、臨時交付金を活用して、富士見公園野球場スコアボード補修工事及び茂原公園遊具設置工事等に1660万円を、長生の森公園整備事業は、県事業負担金として1305万円を、茂原公園駐車場整備事業は、第2駐車場整備工事に1000万円をそれぞれ追加するものでございます。

9款教育費、2項小学校費、1目学校管理費の管理運営費は、「スクールニューディール」構想の推進により校務用パソコン、地上デジタルテレビの購入に1495万5000円を、施設設

備維持管理費は、臨時交付金を活用して、耐震化診断業務委託料に2283万円を、小学校環境整備事業は緊急雇用創出事業により樹木の剪定、伐採等の委託に430万円をそれぞれ追加するものでございます。

2目教育振興費の教育振興運営費は、「スクールニューディール」構想の推進により、電子黒板の購入及び新学習指導要領の前倒し実施に伴う理科教育設備備品の購入に2161万7000円を追加するものでございます。

3項中学校費、1目学校管理費の管理運営費は、「スクールニューディール」構想の推進より校務用パソコン、地上デジタルテレビの購入に1872万円を、施設設備維持管理費は、臨時交付金を活用して、耐震診断業務委託料に500万円をそれぞれ追加するものでございます。

2目教育振興費の教育振興運営費は、「スクールニューディール」構想の推進により教育用パソコンの購入及び新学習指導要領の前倒し実施に伴う理科教育設備備品の購入に3655万円を追加するものでございます。

4項幼稚園費、1目幼稚園費の施設設備維持管理費は、臨時交付金を活用して、耐震診断業務委託料に400万円を追加するものでございます。

6項保健体育費、2目体育施設費の市民体育館補修事業は、臨時交付金を活用して、市民体育館のプールの解体・埋立て工事に1300万円を追加するものでございます。

次に、歳入の主なものについて申し上げます。

14款国庫支出金、2項国庫補助金、1目民生費国庫補助金は、自力避難困難者入所施設のスプリンクラー整備に伴い、地域介護・福祉空間整備等交付金1169万1000円を、また、国の経済対策による子育て応援特別手当交付金8280万円をそれぞれ追加するものでございます。

2目衛生費国庫補助金は、女性特有のがん検診の推進に伴い、女性特有のがん検診推進事業費補助金2981万円を追加するものでございます。

3目土木費国庫補助金は、橋梁の老朽化調査に伴い、長寿命化修繕計画策定費補助金250万円を、道路補修工事に伴い、地方道事業費補助金1050万円をそれぞれ追加するものでございます。

4目教育費国庫補助金は、「スクールニューディール」構想の推進によるICT環境の整備に伴い、学校情報通信技術環境整備事業補助金3570万3000円を、新学習指導要領の前倒し実施に伴い、理科教育設備整備費補助金946万7000円をそれぞれ追加するものでございます。

5目総務費国庫補助金は、国の経済危機対策として、地域活性化・経済危機対策臨時交付金2億9195万3000円を、公共投資臨時交付金900万円をそれぞれ追加するものでございます。

15款県支出金、2項県補助金、1目民生費県補助金は、グループホームの新設や増設に伴い、介護基盤緊急整備等臨時特例交付金5250万円を追加するものでございます。

4目土木費県補助金は、茂原公園駐車場整備工事の実施に伴い、観光地魅力アップ緊急整備事業補助金680万円を追加するものでございます。

6目商工費県補助金は、小中学校及び幼稚園、保育園の環境整備、公有財産台帳の整備に伴い、千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金1597万9000円を追加するものでございます。

19款繰越金、1項繰越金、1目繰越金は、前年度繰越金1億858万8000円を追加するものでございます。

21款市債、1項市債は、県営湛水防除事業の増等に伴い、3160万円を追加するものでございます。

第2表地方債補正でございますが、農業生産基盤整備事業、土地区画整理事業、長生の森公園整備事業及び茂原公園駐車場整備事業のそれぞれの限度額を変更するものでございます。

以上、企画財政部所管にかかわります認定案1件及び議案第1号について御説明申し上げます。よろしく御審議の上、認定及び御可決くださいますようお願いいたします。

○議長（常泉健一君） 市民環境部長 風戸茂樹君。

（市民環境部長 風戸茂樹君登壇）

○市民環境部長（風戸茂樹君） 市民環境部所管にかかわります認定案第2号、第5号及び第10号並びに議案第2号、第3号、第4号及び第6号議案について御説明申し上げます。

まず、認定案第2号「平成20年度茂原市特別会計国民健康保険事業費歳入歳出決算」について御説明申し上げます。

本案は、歳入総額96億3538万8898円に対しまして、歳出総額91億590万9341円で、歳入歳出差引5億2947万9557円の黒字決算となりました。

平成20年度より75歳以上の被保険者が後期高齢者医療制度に移行したことや退職者医療制度の対象年齢が64歳に引き下げられたことにより、前年度に比べ多く変更が生じております。

歳入の主な内容から御説明申し上げます。

1款の国民健康保険税につきましては、収入済額は30億5612万2805円で、対前年度比6億3201万6216円、17.1%の減となりました。

現年度分の収納率につきましては、一般と退職をあわせまして83.61%で、対前年度比2.19ポイントの減となりました。

3 款の国庫支出金でございますが、1 項国庫負担金として17億7961万4633円が交付されました。前年度比1 億700万1865円、5.7%の減でございます。主なものは、療養給付費等負担金でございます。これは一般被保険者の医療費、後期高齢者医療費支援金及び介護納付金に対する国庫負担分でございます。

また、2 項国庫補助金として、財政調整交付金が3 億8874万6000円交付されました。これは、一定の基準により算定される各保険者間の国保の財政力に応じ交付される補助金でございます。

4 款の療養給付費等交付金は、7 億4009万890円が交付されました。これは、退職被保険者に要した医療費から保険税を差し引いた額をもとに、社会保険診療報酬支払基金から交付されたものでございます。

5 款の前期高齢者交付金は、15億2316万4358円が交付されました。これは65歳から74歳までの被保険者の医療費につきまして、社会保険診療報酬支払基金から交付されたものでございます。

6 款の県支出金につきましては、1 項県負担金及び2 項県補助金として4 億4222万665円が交付されました。主なものは、高額医療費共同事業負担金、特定健康診査等負担金及び財政調整交付金でございます。

9 款繰入金につきましては、1 項他会計繰入金の1 目一般会計繰入金が1 億4586万9273円、2 目保険基盤安定繰入金が2 億3441万8727円で、合わせて3 億8028万8000円となっております。一般会計繰入金は、事務費、出産育児一時金、財政安定化支援事業に基づく繰り入れ等でございます。また、保険基盤安定繰入金は、国保税軽減に伴うものとして繰り入れたものでございます。

続きまして、歳出の主なものにつきまして御説明いたします。

1 款総務費は1 億7500万9632円で、一般職人件費及び保険税賦課徴収事務費が主なものでございます。

2 款保険給付費は、支出済額が59億7611万5022円で、対前年度比1 億3108万5327円、2.14%の減となりました。

3 款後期高齢者支援金等は、支出済額11億3035万7747円で、後期高齢者医療制度の安定的運営のため、社会保険診療報酬支払基金へ拠出するものでございます。

4 款前期高齢者納付金等は、支出済額152万2031円で、前期高齢者の医療費を全保険者間で負担調整した際の納付金で、社会保険診療報酬支払基金へ納付するものでございます。

5 款老人保健拠出金は、支出済額1 億6160万1569円で、後期高齢者医療制度への移行に伴い、

対前年度比12億3879万7156円の減となりました。

6 款介護納付金は、支出済額 5 億1794万9490円で、対前年度比7633万7413円、12.8%の減となりました。これは、40歳から64歳までの第2号被保険者に係る介護保険給付に対する負担金でございます。

8 款保健事業費は、支出済額6830万6572円で、対前年度比3457万6992円の増となりました。20年度から医療保険者に義務づけられました特定健康診査に要する費用と人間ドック助成事業等に要する費用が主なものでございます。

9 款基金積立金は、涸渇しております財政調整基金に5000万円の積立を行ったものでございます。

以上が「平成20年度茂原市特別会計国民健康保険事業費歳入歳出決算」の概要でございます。我が国の医療保険制度のうち、国民健康保険は高齢者や所得の少ない方が被保険者の多くを占めており、厳しい事業運営を余儀なくされているのが実情であります。今後ともより一層、国の動向に注視するとともに、医療費の適正化を図るよう、事業の健全な運営に努めてまいりたいと考えております。

続きまして、認定案第5号「平成20年度茂原市特別会計老人保健費歳入歳出決算」について御説明申し上げます。

歳入総額 5 億5080万3208円に対しまして、歳出総額 5 億3683万1349円で、歳入歳出差引は1397万1859円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容から御説明いたします。

1 款支払基金交付金につきましては、社会保険診療報酬支払金からの交付金でございます。収入済額は 2 億8638万480円で、対前年度比27億7927万3846円の減となりました。

次に、2 款国庫支出金は 1 億3929万6264円、3 款県支出金が3955万9000円、4 款一般会計からの繰入金金が4570万7000円で、公費負担の合計額は 2 億2456万2264円となり、対前年度比25億5369万3827円の減となりました。これは医療諸費に対するそれぞれの定率負担でございます。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明いたします。

1 款医療諸費は、支出済額 5 億2935万7166円で、対前年度比52億3548万4899円の減となりました。内訳は、現物給付であります医療給付費が 5 億66万482円、現金給付であります医療費支給費が2622万2562円、審査支払手数料が247万4122円でございます。

以上が「平成20年度茂原市特別会計老人保健費歳入歳出決算」の概要でございます。

続きまして、認定案第10号「平成20年度茂原市特別会計後期高齢者医療事業費歳入歳出決算

について」御説明申し上げます。

歳入総額 6 億 8903 万 484 円に対しまして、歳出総額 5 億 9429 万 4875 円で、歳入歳出差引は 9473 万 5609 円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容から御説明いたします。

1 款後期高齢者医療保険料につきましては、収入済額は 5 億 259 万 290 円でございます。

次に、4 款繰入金につきましては、1 項一般会計繰入金の 1 目事務費繰入金が 7178 万 9000 円、2 目保険基盤安定繰入金が 1 億 1056 万 9272 円で、合わせて 1 億 8235 万 8272 円となっております。一般会計繰入金は、事務費繰入、また、保険基盤安定繰入金は低所得者等の保険料の軽減に伴うものとして繰り入れられたものでございます。

次に、5 款諸収入につきましては、5 項受託事業収入の 1 目後期高齢者医療広域連合受託事業収入の 358 万 5370 円は、賦課徴収帳票作成等業務受託料でございます。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明いたします。

1 款総務費は、3998 万 9894 円で、一般職人件費及び医療事務費並びに徴収事務費が主なものでございます。

2 款後期高齢者医療広域連合納付金は、支出済額 5 億 5430 万 4981 円で、千葉県後期高齢者医療広域連合へ納付するものでございます。

以上が「平成 20 年度茂原市特別会計後期高齢者医療事業費歳入歳出決算」の概要でございます。

次に、議案第 2 号「平成 21 年度茂原市特別会計国民健康保険事業費補正予算（第 1 号）」について御説明申し上げます。

歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ 304 万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 94 億 6734 万 5000 円にいたそうとするものでございます。

本案は、後ほど条例改正で御説明いたします国民健康保険被保険者の出産育児一時金の改正に伴い増額分でございます。

まず、歳出について御説明申し上げます。

2 款保険給付費、5 項出産育児諸費 304 万円でございますが、本年 10 月から出産育児一時金の額が現行の 38 万円から 42 万円に 4 万円増額するためのものでございます。

これに対応いたします歳入財源といたしましては、上段をごらんください。

3 款国庫支出金、2 項国庫補助金として増額分の 2 分の 1 に相当する 152 万円、9 款繰入金、1 項他会計繰入金 101 万 3000 円、10 款繰越金 50 万 7000 円をもって対応しようとするものでござ

います。

次に、議案第3号「平成21年度茂原市特別会計老人保健費補正予算（第1号）」について御説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1046万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1383万5000円にいたそうとするものでございます。

まず歳出について御説明申し上げます。

1款医療諸費、1項医療費、1目医療給付費486万5000円につきましては、老人保健の過誤調整分の医療の給付費の増額分でございます。

また、2款諸支出金、1項償還金、1目償還金560万4000円につきましては、前年度の社会保険診療報酬支払基金からの交付金の精算による超過分を返還するものでございます。

これに対応いたします歳入財源といたしましては、4ページの上段をごらんください。

1款支払基金交付金、1項支払基金交付金、1目医療費交付金243万2000円、4款繰越金、1項繰越金、1目繰越金803万7000円をもって対応いたそうとするものでございます。

次に、議案第4号「平成21年度茂原市特別会計後期高齢者医療事業費補正予算（第1号）」について御説明申し上げます。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ50万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7億2100万3000円にいたそうとするものでございます。

まず歳出について御説明申し上げます。

3款諸支出金、1項償還金及び還付加算金でございますが、1目保険料還付金50万7000円につきましては、前年度過誤納保険料還付金の増額分でございます。

これに対応いたします歳入財源といたしましては、4ページの上段をごらんください。

5款繰越金、1項繰越金、1目繰越金50万7000円をもって対応いたそうとするものでございます。

次に、議案第6号「茂原市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの出産育児一時金の支給額を1件あたり38万円から42万円に改正しようとするものでございます。

出産育児一時金は、本市の国民健康保険被保険者の出産に対して支給しておりますが、国の緊急少子化対策に伴い、健康保険の支給額が引き上げられたことから、本市におきましても出産に要する経済的負担の軽減を図るため、支給額の見直しをいたそうとするものでございます。

改正により見込まれます影響額につきましては、10月からの6か月間で304万円を見込んでおります。

なお、本改正案につきましては、7月1日開催の茂原市国民健康保険運営協議会に諮問したところ、原案どおり承認する旨の答申を得ておりますので、申し添えさせていただきます。

以上、市民環境部所管にかかわります認定案3件、議案4件につきまして御説明させていただきました。よろしく御審議の上、御承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（常泉健一君） ここでしばらく休憩します。

午前11時22分 休憩

————— ☆ ————— ☆ —————

午前11時35分 開議

○議長（常泉健一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

都市建設部長 古市賢一君。

（都市建設部長 古市賢一君登壇）

○都市建設部長（古市賢一君） 都市建設部所管にかかわります認定案第3号、第4号、第7号及び第8号につきまして御説明申し上げます。

初めに、認定案第3号「平成20年度茂原市特別会計下水道事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

歳入総額20億1627万2353円に対し、歳出総額19億5872万3072円となり、歳入歳出差引額5754万9281円の黒字決算となりました。

これにより、繰越明許に伴います翌年度に繰り越すべき財源790万7700円を差し引いた実質収支につきましても4964万1581円の黒字決算となりました。

主な概要を歳入より御説明申し上げます。

1 款分担金及び負担金、収入済額601万6000円余につきましては、受益者負担金でございます。

2 款使用料及び手数料7億6632万9000円余につきましては、下水道使用料等でございます。

3 款国庫支出金8743万5000円につきましては、管渠整備及び処理場改築事業等に係る国庫補助金でございます。

5 款繰入金3億5000万円につきましては、一般会計より3億3000万円、財政調整基金より2000万円の繰入でございます。

6 款繰越金4780万円余につきましては、平成19年度よりの繰越金でございます。

7 款諸収入1839万7000円余につきましては、接続協力金等でございます。

8 款市債 7 億4010万円につきましては、下水道事業債 3 億3880万円、高金利対策の借換債 4 億130万円でございます。

なお、下水道事業債のうち 2 億5000万円が資本費平準化債でございます。

次に、歳出の主な内容について御説明申し上げます。

1 款事業費、1 項管理費、1 目一般管理費 1 億1073万8000万円余につきましては、下水道使用料の徴収委託料、供用開始区域を中心とした水洗化補助金及び消費税等でございます。

2 目維持管理費 3 億738万4000円余につきましては、処理場の光熱水費、汚泥等の処分委託料、処理場維持管理業務等委託料及び管渠補修工事等でございます。

2 項工事費 2 億675万7000円余につきましては、下水処理場のアスベスト除去工事のほか、早野第 3 幹線布設工事として、汚水管496メートルの整備等を行いました。

3 款公債費13億3384万1000円余につきましては、起債の償還元金及び利子でございます。

なお、償還元金のうち 4 億155万5000円余が公的資金補償金免除繰上償還分でございます。

以上が、平成20年度茂原市特別会計下水道事業費歳入歳出決算の概要でございます。

次に、認定案第 4 号「平成20年度茂原市特別会計宅地開発事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

歳入総額1599万669円に対し、歳出総額36万5400円となり、歳入歳出差引額1562万5269円の黒字決算となりました。

主な概要を歳入より御説明申し上げます。

1 款繰越金、収入済額1599万円余につきましては、平成19年度よりの繰越金でございます。

次に、歳出について御説明申し上げます。

1 款事業費36万5000円余につきましては、西部地区開発事業用地の草刈委託料でございます。

以上が、平成20年度茂原市特別会計宅地開発事業費歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、認定案第 7 号「平成20年度茂原市特別会計駐車場事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

歳入総額 1 億8755万8843円に対し、歳出総額 1 億7876万3930円となり、歳入歳出差引額879万4913円の黒字決算となりました。

主な概要を歳入より御説明申し上げます。

1 款事業収入、収入済額4859万7000円余につきましては、駐車場使用料及び駐車場壁面使用料でございます。

2 款繰入金 1 億2000万円につきましては、一般会計からの繰入金でございます。

3 款繰越金1893万1000円余につきましては、平成19年度よりの繰越金でございます。

次に、歳出の主な内容について御説明申し上げます。

1 款事業費、1 項管理費、1 目一般管理費198万6000円余につきましては、消費税等でございます。

2 目施設管理費5123万3000円余につきましては、駐車場の管理委託料及び用地の借上料等でございます。

2 款公債費 1 億2554万4000円余につきましては、起債の償還元金及び利子でございます。

以上が、平成20年度茂原市特別会計駐車場事業費歳入歳出決算の概要でございます。

次に、認定案第 8 号「平成20年度茂原市特別会計土地取得事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

歳入総額1279万704円に対し、歳出総額1279万704円となり、歳入歳出は同額決算でございます。

初めに、歳入より御説明申し上げます。

1 款繰入金1279万円余につきましては、一般会計からの繰入金でございます。

次に、歳出について御説明申し上げます。

1 款公債費1279万円余につきましては、茂原駅前通り地区土地地区画整理事業の推進を図るため、平成11年度に旧茂原税務署跡地を事業用地として取得したことに伴う起債の償還元金及び利子でございます。

なお、本起債の償還につきましては、平成20年度をもって終了となります。

以上が、平成20年度茂原市特別会計土地取得事業費歳入歳出決算の概要でございます。

以上、都市建設部所管にかかります認定案 4 件について御説明申し上げました。よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（常泉健一君） 経済部長 川崎清一君。

（経済部長 川崎清一君登壇）

○経済部長（川崎清一君） 経済部所管にかかります認定案第 6 号「平成20年度茂原市特別会計農業集落排水事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

本案は、歳入総額 3 億3288万5881円に対しまして、歳出総額 3 億2464万6016円で、歳入歳出差引額823万9865円の黒字決算となりました。

主な概要につきましては、歳入より御説明申し上げます。

1 款分担金及び負担金462万5100円でございますが、納入件数13件の受益者分担金でございます。

2 款使用料及び手数料 1 億2119万7037円でございますが、東郷第一地区、豊岡第一地区、豊岡第二地区及び豊岡第三地区の使用料で、納入戸数は2203戸でございます。

4 款繰入金でございますが、一般会計より 1 億4600万円を繰り入れいたしました。

5 款繰越金は、1887万4498円でございます。

7 款市債でございますが、下水道事業債を4200万円借り入れいたしました。

次に、歳出について御説明申し上げます。

1 款事業費は、1 億251万7220円でございます。

その主な事業内容といたしまして、1 項管理費、1 目一般管理費は3597万4450円で、これは事務事業を執行する人件費及び事務費でございます。

2 目施設管理費は6654万2770円で、東郷第一地区、豊岡第一地区、豊岡第二地区及び豊岡第三地区の処理施設及び管路施設の維持管理費でございます。

3 款公債費 2 億2212万8796円は、起債の元金及び利子の償還金でございます。

以上が、平成20年度農業集落排水事業費歳入歳出決算の概要でございます。よろしく御審議の上、認定くださいますようお願い申し上げます。

○議長（常泉健一君） 健康福祉部長 古山 剛君。

（健康福祉部長 古山 剛君登壇）

○健康福祉部長（古山 剛君） 健康福祉部所管にかかわります認定案第9号「平成20年度茂原市特別会計介護保険事業費歳入歳出決算認定について」御説明申し上げます。

本案は、歳入合計44億6368万5271円に対しまして、歳出合計43億3823万9290円で、歳入歳出差引残額 1 億2544万5981円の黒字決算となりました。

歳入の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款介護保険料につきましては、収入済額 8 億2007万6000円ございまして、徴収率は95.09%となっております。

3 款国庫支出金につきましては、介護保険給付費に対する国の負担金 6 億9745万5968円、介護保険給付費に対する国の調整交付金 1 億4462万1000円、介護予防事業に係る地域支援事業交付金930万7087円、包括的支援事業・任意事業に係る地域支援事業交付金3539万6934円、制度改正に伴う電算システム改修に係る介護保険事業費補助金23万円、さらに介護従事者の処遇改善を目的とする介護従事者処遇改善臨時特例交付金3975万9697円を合わせまして、9 億2677万

686円が収入済額となっております。

4 款支払基金交付金につきましては、介護保険給付費に対する社会保険診療報酬支払基金の交付金11億9982万3000円、地域支援事業に対する社会保険診療報酬支払基金の交付金1719万円を合わせまして、12億1701万3000円が収入済額でございます。

5 款県支出金につきましては、介護保険給付費に対する県の負担金 5 億8488万円、介護予防事業に係る地域支援事業交付金465万3543円、包括的支援事業・任意事業に係る地域支援事業交付金1769万8467円を合わせまして、6 億723万2010円が収入済額となっております。

8 款繰入金につきましては、収入済額 7 億5094万2000円で、内訳といたしましては、一般会計からは、介護給付費分 5 億318万6000円、介護予防事業に係る地域支援事業分608万円、包括的支援事業・任意事業に係る地域支援事業分3165万円、運営費分 1 億8802万6000円、そして給付費準備基金からは、保険給付費充当分2200万円でございます。

9 款繰越金につきましては、収入済額 1 億3873万7562円で、前年度繰越金でございます。

続きまして、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げます。

1 款総務費につきましては、支出済額 1 億8781万9211円で、主なものといたしましては、1 項 1 目一般管理費の一般職人件費が 1 億2419万889円、介護保険電算システム事業が2537万4016円でございます。

3 項 1 目介護認定審査会費につきましては、長生郡市広域市町村圏組合介護認定審査会負担金は1806万1000円でございます。

2 款保険給付費につきましては、支出済額38億8418万1769円で、前年比3.9%、金額で 1 億4479万573円の増加でございます。

保険給付費の主なものといたしましては、1 項 1 目居宅介護サービス給付費が16億4555万4686円、1 項 2 目介護予防サービス給付費が9002万4587円、1 項 3 目地域密着型介護サービス給付費が 3 億1545万8783円、1 項 4 目施設介護サービス給付費が14億2417万7220円、1 項 7 目居宅介護サービス計画給付費が 1 億8330万1486円、3 項 1 目特定入所者介護サービス費が 1 億2083万6260円でございます。

4 款地域支援事業につきましては、支出済額 1 億2612万3814円でございます。

地域支援事業の主なものといたしましては、1 項介護予防事業費といたしまして、介護予防特定高齢者施策事業が1110万1077円、2 項包括的支援事業・任意事業費といたしまして、総合相談支援・権利擁護事業が1886万8500円、地域自立生活支援事業が338万1508円でございます。

5 款基金積立金につきましては、支出済額8379万4697円で、内訳といたしましては、今後の

保険給付の増加等に対応するための給付費準備基金4403万5000円、介護従事者の処遇改善を目的とした介護報酬改定に伴う保険料の上昇を抑制するための介護従事者処遇改善臨時特例基金3975万9697円の積立をそれぞれ行ったものでございます。

この介護従事者処遇改善臨時特例基金につきましては、506ページの介護従事者処遇改善臨時特例基金交付金をそのまま基金に積み立てたものになります。

以上が、平成20年度茂原市特別会計介護保険事業費歳入歳出決算の概要でございます。よろしく御審議の上、御承認くださいますようお願い申し上げます。

○議長（常泉健一君） 総務部長 松本文雄君。

（総務部長 松本文雄君登壇）

○総務部長（松本文雄君） 総務部所管にかかわります議案第5号及び第8号について御説明申し上げます。

まず、議案第5号「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について」御説明申し上げます。

本案は、住民生活に必要なバス等の旅客運送の確保、その他旅客の利便の向上等、地域の実情に即した輸送サービスの実現を図るため、道路運送法の規定に基づき「茂原市地域公共交通会議」を設置するにあたり、「地域公共交通会議委員」を非常勤の特別職の職員として位置づけをするとともに、その報酬の額を定めようとするものでございます。

委員の構成につきましては、地域の実情に即した輸送サービスの実現という観点から、「一般旅客自動車運送事業者」「地方運輸局長」及び「警察署長」等の20名以内で組織する予定でございます。

また、報酬の額につきましては、他の非常勤の特別職の職員と同様に、会長6500円、委員6000円とするものでございます。

次に、議案第8号「損害賠償額の決定及び和解について」御説明申し上げます。

本案は、平成20年11月18日、午後3時48分ごろ、茂原市茂原108番地先の交差点内において発生した交通事故について、このたび相手方と示談の条件が整ったことから、和解しようとするものでございます。

和解の内容といたしましては、損害賠償額合計188万3348円から相手方の過失割合相殺額18万8334円を差し引き、損害賠償額169万5014円と決定したため、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めようとするものでございます。

職員の交通安全や事故等の防止につきましては、部課長会での周知や文書通知による徹底に

努めているところですが、今後、さらに最大限の注意を払いまして、交通事故の防止に努めるよう注意喚起を促してまいりますので、よろしくお願いいたします。

以上、総務部所管にかかわります議案2件につきまして御説明をさせていただきました。よろしく御審議の上、御可決くださいますようお願いいたします。以上でございます。

○議長（常泉健一君） 以上で提案理由の説明を終わります。

————— ☆ ————— ☆ —————

請願・陳情の上程後委員会付託

○議長（常泉健一君） 次に、議事日程第4「請願・陳情の上程後委員会付託」を議題といたします。

受付締切の9月3日までに受理しました請願2件、陳情4件を一括上程します。

ただいま上程しました請願・陳情は、お手元に配付の請願・陳情文書表のとおり、所管委員会にその審査を付託します。

————— ☆ ————— ☆ —————

休会の件

○議長（常泉健一君） 次に、議事日程第5「休会の件」を議題とします。

お諮りします。明9月9日から15日までは、議案等調査のため休会としたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（常泉健一君） 御異議ないものと認めます。したがって、そのように決定しました。

以上で、本日の議事日程は終了しました。

次の本会議は16日午前10時から開き、一般質問を行います。

本日は以上で散会します。御苦労さまでした。

午後0時03分 散会

————— ☆ ————— ☆ —————

○本日の会議要綱

1. 会議録署名議員の指名
2. 会期の決定
3. 認定案第1号から第10号並びに議案第1号から第8号までの上程説明
4. 請願・陳情の上程後委員会付託
5. 休会の件

○出席議員

議長 常 泉 健 一 君

副議長 深 山 和 夫 君

1番	飯 尾 暁 君	2番	前 田 正 志 君
3番	矢 部 義 明 君	4番	金 坂 道 人 君
5番	中 山 和 夫 君	6番	山 田 きよし 君
7番	細 谷 菜穂子 君	8番	森 川 雅 之 君
9番	平 ゆき子 君	10番	鈴 木 敏 文 君
11番	ますだ よしお 君	12番	田 丸 たけ子 君
13番	加賀田 隆 志 君	14番	腰 川 日出夫 君
15番	伊 藤 すすむ 君	17番	勝 山 穎 郷 君
18番	初 谷 智津枝 君	19番	三 橋 弘 明 君
20番	関 好 治 君	21番	早 野 公一郎 君
22番	三 枝 義 男 君	24番	市 原 健 二 君
25番	田 辺 正 和 君	26番	金 澤 武 夫 君

☆

☆

○欠 席 議 員

な し

☆

☆

○出席説明員

市 長	田 中 豊 彦 君	副 市 長 (行財政改革推進本部長)	長谷川 正 君
教 育 長	古 谷 一 雄 君	総 務 部 長	松 本 文 雄 君
企 画 財 政 部 長	平 野 貞 夫 君	市 民 環 境 部 長	風 戸 茂 樹 君
健 康 福 祉 部 長	古 山 剛 君	経 済 部 長	川 崎 清 一 君
都 市 建 設 部 長	古 市 賢 一 君	教 育 部 長	國 代 文 美 君
総 務 部 次 長 (総務課長事務取扱)	中 山 茂 君	企 画 財 政 部 次 長 (市民税課長事務取扱)	片 岡 繁 君
企 画 財 政 部 次 長 (財政課長事務取扱)	今 関 正 男 君	市 民 環 境 部 次 長 (生活課長事務取扱)	渡 邊 輝 夫 君
健 康 福 祉 部 次 長 (社会福祉課長事務取扱)	大 野 博 志 君	経 済 部 次 長 (商工観光課長事務取扱・ 中心市街地活性化担当)	山 崎 春 雄 君
都 市 建 設 部 次 長 (建設課長事務取扱・ 土木政策担当)	河 野 正 善 君	都 市 建 設 部 次 長 (都市政策課長事務取扱・ 都市政策担当・ 本納駅東地区土地 区画整理担当)	酒 井 達 夫 君
教 育 部 次 長 (庶務課長事務取扱)	斉 藤 勝 君	職 員 課 長	相 澤 佐 君
企 画 政 策 課 長	岡 本 幸 一 君		

————— ☆ ————— ☆ —————

○出席事務局職員

事 務 局 長	金 坂 正 利
主 幹	鈴 木 均
局 長 補 佐 (庶務係長事務取扱)	宮 本 浩 一